

世界貿易投資動向シリーズ

チェコ

2020年11月20日
海外調査部・プラハ事務所

2019年の貿易は、輸出が前年比3.7%増、輸入が2.0%増となり、過去最高の貿易黒字を記録した。最大の輸出品目である機械類・輸送用機器が5.1%増と堅調な伸びを示し、輸出増に寄与した。外国直接投資額は、対外・対内ともに前年を下回った。対日貿易は輸出が14.1%増、輸入が4.0%増だった。日本からの投資は2012年以来、7年ぶりの引き揚げ超過となった。

■輸出入増、貿易黒字額過去最高を記録

2019年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比3.7%増の1,781億3,100万ユーロ、輸入が2.0%増の1,600億4,700万ユーロとなり、輸出入ともに増加した。貿易黒字は180億8,400万ユーロとなり、前年から32億2,000万ユーロ増加した。ユーロ建て通関ベースでは1993年のチェコ共和国独立後、最高値を記録した。

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送用機器（構成比58.9%）は前年比5.1%増と堅調だった。そのうち、道路走行車（自動車や部品を含む、20.2%）が4.3%増、通信・録音機器（7.9%）が15.4%増と牽引した。通信・録音機器の増加は、携帯電話などの電話器およびその部品（6.5%）が21.6%増と大幅に増加したことによる。

輸出を国・地域別にみると、全体の8割強を占めるEU（構成比83.6%）は前年比3.1%増となった。最大の輸出先であるドイツ（31.8%）は1.8%増にとどまった。同国向け輸出の最大品目である道路走行車（19.8%）が3.9%増、事務機器（8.2%）が29.3%増と好調だったが、通信・録音機器（8.2%）が5.0%減となったことが影響した。そのほか、スロバキア（7.6%）が4.1%増、オランダ（3.9%）が9.6%増、ハンガリー（3.3%）が12.5%増と伸び率が高かった。

EU域外では米国（構成比2.3%）の伸びが顕著で、特に通信・録音機器（9.4%）が前年の4.2倍に急増した結果、前年比17.0%増となった。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器（構成比48.1%）は前年比3.8%増だった。そのうち、輸出同様、電話器およびその部品（7.7%）が17.7%増の伸びを示した結果、通信・録音機器（8.8%）が16.7%増と大幅に増

表1 チェコの主要品目別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	99,844	104,932	58.9	5.1	74,141	76,979	48.1	3.8
原料別製品	25,566	25,211	14.2	△1.4	25,714	25,042	15.6	△2.6
雑製品	21,161	21,520	12.1	1.7	18,349	18,790	11.7	2.4
化学製品	10,643	11,617	6.5	9.1	17,158	17,964	11.2	4.7
食料品・生きた動物	5,256	5,474	3.1	4.2	6,842	7,319	4.6	7.0
食料に適さない原材料	3,697	3,753	2.1	1.5	3,197	3,133	2.0	△2.0
鉱物性燃料	3,522	3,301	1.9	△6.3	9,624	8,724	5.5	△9.3
飲料・たばこ	1,276	1,400	0.8	9.7	1,145	1,238	0.8	8.1
動植物性油脂	314	344	0.2	9.6	229	259	0.2	12.9
合計 (その他含む)	171,716	178,131	100.0	3.7	156,852	160,047	100.0	2.0

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] チェコ統計局

表2 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年			2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	144,491	148,945	83.6	3.1	100,980	99,895	62.4	△1.1
ユーロ圏	112,417	115,433	64.8	2.7	76,654	75,885	47.4	△1.0
ドイツ	55,617	56,617	31.8	1.8	39,271	39,446	24.6	0.4
スロバキア	12,978	13,513	7.6	4.1	7,804	7,033	4.4	△9.9
フランス	8,715	9,101	5.1	4.4	5,101	4,955	3.1	△2.9
オーストリア	7,654	7,636	4.3	△0.2	4,603	4,447	2.8	△3.4
オランダ	6,330	6,936	3.9	9.6	4,345	4,636	2.9	6.7
非ユーロ圏	32,074	33,512	18.8	4.5	24,325	24,010	15.0	△1.3
ポーランド	10,392	10,764	6.0	3.6	12,024	12,097	7.6	0.6
英国	7,948	7,979	4.5	0.4	3,246	2,652	1.7	△18.3
ハンガリー	5,152	5,799	3.3	12.5	3,751	3,724	2.3	△0.7
スウェーデン	2,978	2,886	1.6	△3.1	1,292	1,291	0.8	0.0
ルーマニア	2,578	2,754	1.5	6.8	2,112	2,259	1.4	6.9
ロシア	3,495	3,849	2.2	10.1	4,975	4,454	2.8	△10.5
アジア大洋州	5,958	6,184	3.5	3.8	35,271	38,782	24.2	10.0
中国	2,189	2,208	1.2	0.9	22,148	25,283	15.8	14.2
日本	773	881	0.5	14.1	2,660	2,766	1.7	4.0
インド	600	580	0.3	△3.3	731	821	0.5	12.4
韓国	418	410	0.2	△2.0	3,628	3,391	2.1	△6.5
ASEAN	988	1,014	0.6	2.6	4,762	5,222	3.3	9.7
米国	3,545	4,147	2.3	17.0	3,952	4,204	2.6	6.4
中東	4,210	4,091	2.3	△2.8	1,957	1,965	1.2	0.4
トルコ	1,862	1,723	1.0	△7.5	1,457	1,499	0.9	2.9
アフリカ	1,859	1,970	1.1	5.9	1,081	1,507	0.9	39.4
ブラジル	291	323	0.2	10.8	314	242	0.2	△22.8
合計 (その他含む)	171,716	178,131	100.0	3.7	156,852	160,047	100.0	2.0

〔注〕①アジア大洋州は、ASEAN+6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。

②EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕チェコ統計局

加した一方、電気機器 (10.5%) が0.1%減、航空機とその部品 (0.3%) が60.5%減だった。

輸入を国・地域別にみると、全体の6割強を占めるEU(構成比62.4%)は前年比1.1%減だった。最大の輸入元であるドイツ(24.6%)は0.4%増とほぼ横ばいだったが、スロバキア(4.4%)が9.9%減、英国(1.7%)が18.3%減となったことが影響した。スロバキアは鉄鋼(10.8%)の11.4%減、石油・石油製品(7.5%)の31.2%減、英国は道路走行車(10.1%)の11.3%減、電気機器(9.0%)の61.3%減などが影響した。

EU域外ではドイツに次いで輸入額が大きい中国(構成比15.8%)が前年比14.2%増と大幅に増加し、対中貿易赤字額は前年の199億5,900万ユーロから230億7,500万ユーロに増加した。2018年に続きチェコ最大の貿易赤字相手国となっている。通信・

録音機器(38.3%)の22.5%増、事務機器(23.9%)の14.9%増が増加要因となった。

2020年上半期の貿易は、輸出が前年同期比13.1%減、輸入が11.1%減と落ち込み、特に道路走行車の輸出が25.5%減、輸入が27.9%減となった。3月半ばから始まった自動車メーカーの生産停止や小売店の営業制限などの新型コロナウイルス感染拡大防止措置により経済活動が抑制され、主要輸出先国及び自国の需要が落ち込んだ影響とみられる。

■直接投資額は、対内・対外ともに減少傾向が続く

チェコ国立銀行によると、2019年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年比27.5%減の67億6,800万ユーロとなった。業種別でみると、サービス業は64億9,200万ユーロで前年に比べ25.9%増加した。中でも投資額が最も大きい金融・保険が51億7,600万ユーロから40億4,400万ユーロへと減少したが、不動産が前年の引き揚げ超過から6億7,300万ユーロと大幅に増加し、情報・通信も2018年5月に発表されたボーダフォンのリバイ・グローバル買収計画が7月末に完了し、2,600万ユーロから4億3,200万ユーロに増大した。一方、2018年は24億6,700万ユーロの対内投資額だった自動車、2019年は7億2,300万ユーロの引

表3 チェコの業種別対内・対外直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位: 100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2018年	2019年		2018年	2019年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
サービス業	5,158	6,492	25.9	6,397	3,711	△42.0
製造業	3,164	△179	—	144	495	243.1
電気・ガス・冷暖房供給	391	329	△15.8	769	126	△83.6
建設	271	64	△76.3	56	48	△14.6
上下水道、廃棄物管理	△173	56	—	0	8	—
合計 (その他含む)	9,330	6,768	△27.5	7,341	4,393	△40.2

〔注〕2019年は暫定値。

〔出所〕チェコ国立銀行

表4 チェコの主な対内直接投資案件 (2019年～2020年6月)

(M&A以外)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
石油化学	PKL オルレン	ポーランド	2019年	65億コルナ	厳しい環境基準に応じた石油化学分野の新たなテクノロジー装置の構築、および既存設備の最新化を完了。
小売り	アホールド・デレーズ	オランダ	2019年11月	10億コルナ	アルベルト・ブランドのスーパーマーケットを新規に3店舗オープンし、既存の約60店舗の改装も完了。
車両製造	シュコダ・トランスポートーション・グループ	オランダ	2020年2月	10億コルナ	グループ内企業シュコダ・パゴニカ (市電・列車車両製造) の工場拡張工事を開始したと発表。完成後450人を新規雇用予定。
自動車	トヨタ自動車	日本	2020年1月	非公表	トヨタとPSA(フランス)との合弁会社TPCAが、従来小型車に加え、「ヤリス」の生産ラインを新設することを発表。

(M&A)

被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
通信	リパティ・グローバル	ボーダフォン	英国	2019年7月	103億1,300万ユーロ (ドイツおよび中・東欧事業全体)	ボーダフォングループが、ドイツ、チェコ、ハンガリー、ルーマニアにおけるリパティ・グローバルのCATV事業の買収を完了したことを、2019年7月末に発表。
鉄鋼	アルセロール・ミッタル・オストラバ	リパティ・スチール	英国	2019年7月	7億4,000万ユーロ (中・東欧事業全体)	リパティ・スチールが、欧州7カ国におけるアルセロール・ミッタルの鉄鋼事業の買収を完了したことを発表。
医薬品	ブラハ・ワクチンズ	ノババックス	米国	2020年6月	1億6,700万ドル	新型コロナウイルス対策として、ノババックスが開発中のワクチンを、2021年よりブラハ・ワクチンズにて生産すると発表。
農業製品、食品	レシレント	アグロミノ	ウクライナ	2019年7月	1,290万ユーロ	ウクライナにおける農業事業拡充のため、チェコのマボン投資ファンドよりレシレントを100%買収することを合意したと発表。
ガラス製造	ビノロク	コルティセイラ・アモリン	ポルトガル	2019年7月	1,099万ユーロ	ワインのコルク製造大手、コルティセイラ・アモリンは、ビノロクの50%をガラス製造グループ・プレシオサより買収することを発表。

[注] 時期は公表時期。

[出所] 各社発表から作成

表5 チェコの主な対外直接投資案件 (2019年～2020年7月)

(M&A以外)

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
エネルギー	GEENホールディングス	クアアチア	2019年8月	10億コルナ	クアアチアのジュバニャに建設したバイオマス発電所の運転を開始したと発表。
不動産	CTP インベスト	ルーマニア	2020年7月	650万ユーロ	ブカレストに10万平方メートルのロジスティクス・センターの建設を発表。2万平方メートルは2020年秋に、残りの8万平方メートルは2021年末までに完成予定。

(M&A)

買収企業	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国・地域			
PPFグループ	メディア	CME	バミューダ島 (英)	2019年5月	21億ドル (中・東欧事業全体)	PPFは、同社オランダ法人を介して、中東欧5カ国のテレビ事業を運営するCMEを買収することを発表。
CMI	メディア	ラガルデル	フランス	2019年2月	5,200万ユーロ	チェコ・メディア・インベスト (CMI) は、ラガルデルの雑誌発行事業の買収を完了。
EPH	運輸 (鉄道)	ロコン・ロジスティクス&コンサルティング	ドイツ	2019年5月	非公開	EPHは、子会社EPHロジスティクス・インターナショナルの物流強化を目指し、ロコン・ロジスティクス&コンサルティングの買収を完了。

[注] 時期は公表時期。

[出所] 各社発表から作成

き揚げ超過に転じたことにより、製造業は1億7,900万ユーロの引き揚げ超過となった。

対内投資を国・地域別にみると、EUからの投資が全体の84.4%を占めた。最大の投資元であるオランダは、小売大手のアホールド・デレーズの新規店舗開設などにより、前年比4.1倍の15億9,400万ユーロとなった。EU域外からの投資では、米国が1億6,600万ユーロと最大だった。

2019年のチェコ企業の対外直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー) は前年比40.2%減の43億9,300万ユーロとなった。業種別にみると、最大の投資先分野であるサービス業での投資額減少が対外直接投資の総額を押し下げる要因となった。一方、製造業は4億9,500万ユーロで前年比3.4倍に増大した。

対外投資を国・地域別にみると、EUへの投資が全体の90.2%、ユーロ圏が85.6%を占めた。オランダが引き続き最大の投資先となったが、前年比48.2%減の14億5,800ユーロだった。

■対日輸入では自動車や自動車部品が拡大

2019年の対日輸出は前年比14.1%増の8億8,100万ユーロ、輸入は4.0%増の27億6,600万ユーロであった。対日貿易赤字は18億8,500万ユーロで、前年から200万ユーロ減少したものの、依然として中国、韓国に次ぐ3番目の貿易赤字相手国となっている。

対日輸出を品目別にみると、機械類・輸送用機器（構成比39.8%）が前年比17.0%増、他に分類されない品目（27.2%）が39.5%増となった。機械類・輸送用機器は通信・録音機器（15.7%）が2.8倍に拡大し、他に分類されない品目は金のくず（27.2%）が39.5%増と大幅に増加したことによる。一方、食料品・生きた動物（4.9%）は、ホップ（0.7%）の48.2%減などが影響し、17.9%減となった。なお日本は長期にわたって、ビールの原料、ホップの輸出先トップを占めていたが、2019年はドイツ、中国に次ぐ3位に後退した。

表6 チェコの対日主要品目別輸出入〈通関ベース〉

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	299	350	39.8	17.0	1,877	1,958	70.8	4.3
他に分類されない品目	172	240	27.2	39.5	0.4	0.3	0.0	△0.3
雑製品	95	98	11.1	3.0	353	410	14.8	16.3
原料別製品	73	66	7.5	△8.9	239	232	8.4	△2.8
化学製品	56	47	5.3	△16.4	170	145	5.2	△14.4
食料品・生きた動物	53	43	4.9	△17.9	2	2	0.1	11.5
食料に適さない原材料	24	36	4.1	49.7	18	15	0.6	△15.9
合計 (その他含む)	773	881	100.0	14.1	2,660	2,766	100.0	4.0

[出所] チェコ統計局

対日輸入を品目別にみると、全体の70.8%を占める機械類・輸送用機器が前年比4.3%増となった。そのうち、道路走行車（構成比18.9%）が20.3%増と大幅に増えた。道路走行車の増加は、自動車（12.4%）の19.6%増、自動車部品（4.7%）の22.1%増が牽引した。2019年2月に発効した日EU・EPAによる関税率の引き下げが輸入を後押ししたものとみられる。

■製造業を中心に日系企業5社が新規投資を発表

2019年のチェコの日本からの投資受入額（国際収支ベース）は、前年の1億4,500万ユーロから、200万ユーロの引き揚げ超過に転じた。2012年以来、7年ぶりの引き揚げ超過となった。個別案件をみると、三菱電機が2019年3月、12億円を投じてスラニー市の既存工場に、電動車両用モーター・インバーター製造工場を新設すると発表した。またクラレは6月、ホレシヨフ市にある既存の生産拠点で、合わせガラス用アイオノマー樹脂製中間膜の生産体制を拡充し、7月より本格的に生産を開始した。さらに三光合成は6月、同社80%、同社英国法人20%出資で、コリーン市にプラスチック成形品の製造および販売、プラスチック成形用金型の販売拠点を設立することを発表している。M&Aでは、自動車向け複合成形材料事業において欧州展開を進める帝人が9月、チェコの自動車部品メーカー、ベネット・オートモーティブを完全子会社化したと発表した。2020年に入ってから、トヨタ・プジョー・シトロエン・オートモビル・チェコ（TPCA、コリーン市）が1月、従来の小型車製造に加えて、「ヤリス」の生産ラインを追加導入することを発表した。TPCAはトヨタの欧州統括会社が2021年に完全子会社化を予定している。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：1,069万人（2019年）			
②面積：7万8,871万km ²			
③1人当たりGDP：2万3,102米ドル （2019年）			
④実質GDP成長率（%）	4.4	2.8	2.6
⑤消費者物価上昇率（%）	2.5	2.1	2.8
⑥失業率（%）	4.3	3.2	2.8
⑦貿易収支（100万ユーロ）	9,843	7,817	9,214
⑧経常収支（100万ユーロ）	2,884	961	△655
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	147,583	142,151	149,464
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ユーロ）	171,115	171,534	172,504
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均）	23.3763	21.7299	22.9323

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：チェコ統計局、③：世界銀行、⑦⑧⑩：チェコ国立銀行、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp